

【2023年度】放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表年月	2024年2月	事業所名	ハッピーライフあさひ
------	---------	------	------------

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		運動遊びが十分に行えるように広さを確保し、児童が安全に活動できるよう利用定員を順守している。	
	2 職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		運動遊びが十分に行えるように広さを確保し、児童が安全に活動できるよう利用定員を順守している。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		絵カードや番号、スケジュール表などを設置してわかりやすいように日々努力している。 入口にスロープがついていないため、車いでの来所は少し難しい。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		毎日の朝礼や終礼で常に話し合いを行い、変化を持たせ、振り返りを行っている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		意見を真摯に受け止め、職員間で支援の向上を図って話し合っている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		公開しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	<input type="radio"/>		毎年アンケートを行っています。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		定期的に研修の機会があります。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		半年に一度のペースで保護者面談を行い、意見交換をしながら作成している。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		規定のものを使っています。	
適切な支援の提供	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		子どもの成長や経験につなげていけるようにチーム全体で考え、決定しています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		新しい経験を目指して少し難しいチャレンジも行えるように考えています。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>		その日の活動時間に合わせて新しい経験を提供できるように、季節の行事も織り交ぜながら考えています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		個別活動で集中できる時間やスタッフと一緒に集団遊びの時間を設けてスタッフや友達とかかわりを持つて活動ができるように努めています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		朝礼にて人数確認とともに流れを確認しています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		終礼にて話し合いを行っています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		必ず一人一人記録を書いています。支援についてなにかあったときはその都度話し合いをしています。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		職員間で話し合いながら支援について日々検討し、判断しています。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	<input type="radio"/>		色々な活動を組み合わせて支援しています。	
関係機関や保護者との連携	20 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	<input type="radio"/>		主に児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	<input type="radio"/>		送迎時に情報交換を行い、必要であればその都度連絡を取り合っている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		<input type="radio"/>		現在は利用がないが、契約時に確認し連絡調整を行っていきたい。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	<input type="radio"/>		必要であればその都度連絡調整を行っている。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	<input type="radio"/>		情報交換を行い、スムーズに移行できるよう努めている。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標	チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	25 児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>			受けていない。	非常時等の対応	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	<input type="radio"/>			積極的には行えていないが、今後も行っていきたい。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がないのない子どもと活動する機会がある	<input type="radio"/>			外遊び等でかかる機会があるが、ほかの施設との連携は行っていない。今後、交流をしていきたいと思っている。		38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	<input type="radio"/>		マニュアルを作成しており、訓練も隨時行っている。	
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>			積極的な参加はできていない。		39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>		訓練を隨時行っている。	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>		送迎時の情報交換や面談を通して情報交換を行っている。			40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>		虐待防止研修などを行い、職員の意識の向上を図っている。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	<input type="radio"/>			ご家族に寄り添う支援を意識しているがペアレント・トレーニング等は実施していない。		41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	<input type="radio"/>		保護者説明を行い同意を得たうえで、やむを得ない身体拘束を行った場合には記録をしている。	
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>		契約時に行っている。			42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>		指示書がある場合はその対応をしている。家庭での対処方法を聞き、保護者情報交換をしながら行っている。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>		ご相談を受けたことに対して真摯に受け止め、適切な助言や一緒に考えていくよう意識している。			43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>		終礼の時に話し合い、ヒヤリハットだと思われる事象に対して記入している。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	<input type="radio"/>		事業所で保護者が集まれる機会を設けました。始めたばかりなので、今後も続けていきたいと思う。							
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>		窓口を設置すると共に、相手の思いを真摯に受け止め、迅速かつ丁寧な対応を心がけている。							
保護者への説明責任等	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>		定期的にブログの更新や行事予定の発行を行い、活動についてなどを発信している。							
	35 個人情報に十分注意している	<input type="radio"/>		職員一人一人が意識して注意している。							
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>		その日に起きたことや些細な変化もすべてお伝えできるように努めている。							

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。